

科目名 疾病論 I	配当時期 1 年次後期	講義担当者	
時間割表記名 疾病論 I (循環器・血液・免疫・アレルギー疾患)	単位数 1 単位 時間数 30 時間(16 回)	田山信至 河北敏郎 辻 隆宏	
事前学習内容 解剖生理学・病理学・生化学などの既習学習を踏まえて授業に参加する。			
授業目標 1. 疾病の成り立ちと回復の促進について理解し、病因と病変の特徴及び系統別疾患の病態・検査・診断・治療について理解できる。			
DPとの関連 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	循環器 1. 血圧異常・不整脈の特徴と主な症状 2. 血圧異常・不整脈の主な検査、治療・処置	講義	テキスト①
2 3	循環器 3. 虚血性心疾患の特徴と主な症状 4. 虚血性心疾患の主な検査、治療・処置 1)心電図 2)心エコー 3)心臓カテーテル法 4)運動負荷試験 5)核医学検査 6)薬物療法 7)経皮的冠動脈インターベンション 8)ペースメーカー植え込み	講義	テキスト①
4 5	循環器 5. 心不全の特徴と主な症状 6. 心不全の主な検査、治療・処置 1)画像検査 2)血行動態モニタリング	講義	テキスト①
6	循環器 7. 弁膜症・心膜炎・心筋疾患の特徴と主な症状 8. 弁膜症・心膜炎・心筋疾患の主な検査、治療・処置	講義	テキスト①
7	循環器 9. 動・静脈系疾患の特徴と主な症状 10. 動・静脈系疾患の主な検査、治療・処置 1)大動脈内バルーンパンピング	講義	テキスト①
8	循環器 11. 外科的治療 1)冠動脈バイパス術 2)弁置換術 3)大血管再建術	講義	テキスト①④
9	血液 1. 血液疾患の主な症状と検査 1)貧血 2)白血球増加症、減少症 3)リンパ節腫脹 4)出血性素因 2. 血液疾患の検査 1)末梢血検査 2)骨髓穿刺 3)リンパ節生検	講義	テキスト②

10	血液	3. 赤血球・白血球の非腫瘍性疾患とその治療 1) 赤血球疾患 (1) 鉄欠乏性貧血 (2) 巨赤芽球性貧血 (3) 再生不良性貧血 (4) 骨髄異形成症候群 (5) その他の貧血 2) 白血球・リンパ系疾患 (1) 無顆粒球症 (2) 伝染性単核球症	講義	テキスト②
11	血液	4. 造血器腫瘍の主な治療 1) 化学療法 2) 造血幹細胞移植 3) 輸血療法 5. 代表的な造血器腫瘍の症状と治療 1) 白血病 2) 悪性リンパ腫 3) 多発性骨髄腫	講義	テキスト②
12	血液 免疫	6. 出血性疾患の特徴と主な症状 1) 特発性血小板減少性紫斑病 2) 播種性血管内凝固症候群 7. 出血性疾患の主な検査、治療・処置 1) 出血傾向の検査 8. HIV 感染症とエイズの特徴と主な症状 9. HIV 感染症とエイズの検査と処置	講義	
13	免疫・アレルギー	10. アレルギー疾患の特徴と主な症状 1) 蕁麻疹 2) 接触性皮膚炎 3) アレルギー性鼻 4) アナフィラキシーショック 11. アレルギー疾患の主な検査、治療・処置 1) IgE 検査 2) 白血球検査 3) リンパ球刺激試験 4) 皮膚テスト 5) 薬物療法 6) アレルゲン免疫療法	講義	テキスト③
14 15	膠原病	12. 膠原病の特徴と主な症状 1) 全身性エリテマトーデス 2) シェーグレン症候群 3) ベーチェット病 13. 膠原病の主な検査、治療・処置 1) 血清・免疫学的検査 2) 薬物療法	講義	テキスト③
16	筆記試験(60分)		筆記試験	
受講上の注意 事前学習・事後学習をきちんと行う				評価方法 筆記試験
使用するテキスト ①系統看護学講座 専門分野 成人看護学[3] 循環器 医学書院 ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学[4] 血液・造血器 医学書院 ③系統看護学講座 専門分野 成人看護学[11] アレルギー 膠原病 感染症 医学書院 ④系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院 参考文献				